

HIRADO 11

ひと(HITO) 響きあう 宝島 平戸
 広報ひらど - Hirado City Public Relations -

November 2016
 No.134



Hirado city Public Relations
 2016.11 No.134
 広報ひらど 平成28年11月号



古紙配合の再生紙を使用しています。
 SOSHIN 大豆油墨を使用しています。

【編集・発行】平戸市行革推進課 〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508番地3
 TEL/0950-22-4111(代) FAX/0950-22-5178
 URL <http://www.city.hirado.nagasaki.jp/> E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp
 ■印刷/有明社ケンホクプリント



特集
 待つ図書館から
 飛び出す図書館へ

平戸で活躍する若人 No.7



今月の若人



おおしま さとし
 大島 聡史さん(30歳)
 魚の棚町

曾祖父の代から続く平戸の建築板金「大島板金」で働く4代目、大島聡史さん。
 大島さんは、地元の猶興館高校を卒業後九州大学工学部に進学、卒業後は家業を継ぐため地元へ帰郷し、現在は父と弟の3人で働いています。
 「板金と聞くと、鉄を曲げたり工場で黙々と作業しているイメージがあるかもしれませんが、自分たちは現場で大工や左官の人たちとも一緒に働いているので、年配の人たちともつながりができました。この仕事をしていると、人と人の付き合いが大事だというのが、身に染みて感じるので、出会った人たちは積極的にコミュニケーションを図っています」と話していました。
 仕事以外にも、地区の青年会活動や商工会議所青年部の活動にも、参加しています。
 「これからは、仕事関係だけでなく、農業者や漁師など違う業種の人たちとも一緒に平戸を感じ上げてくれるように地域活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。」と笑顔で語っていました。